

# ふるさと探訪

## 第33回 大野霊神社



日本最大級の  
明河のムクノキ ▲

大野霊神社（社殿の右奥に  
杉の大木が見える） ◀

伝説の絵馬 ▶

丹原町鞍瀬にある大野霊神社には、鳳岳道人、天保6（1835）年8月と記された白馬の奉納額があります。この奉納額のいわれは、昔、平和であった西之子地区の畑が馬に荒らされるようになり、村人が馬の足跡を追って行くと絵馬の下で足跡が消えていました。村人は絵馬の仕業と知りましたが、相手が絵馬ではどうすることもできず途方にくれていたところ、日頃村人から相手にされない村の若者が、村人の集まっているところへやってきて「大勢寄って何をしようぞい」と一言言ったそうです。すると村人は、若者に「馬が畑にこないようにせい」と言ったそうです。すると、翌晩から畑は荒らされなくなったので村人は不思議

に思い絵馬を見に行ってみると、絵馬には手綱が描き足していたとの言い伝えがあります。

また、大野霊神社の杉の大木やさらに奥の保井野の民家を過ぎた辺りにも日本最大級といわれる「明河のムクノキ」があり、伝説や巨木など歴史を感じられる山間部の静かな場所です。

■住所 丹原町鞍瀬丁440

■駐車場 なし（県道から入った道は未舗装で道幅も狭いので、要注意）

